

私立大学図書館協会 2006 年度東地区部会総会 議事要録

日 時：2006 年 6 月 9 日（金）10：00～11：30

会 場：鶴見大学 鶴見大学会館 B 1 メインホール

開会の辞	司会者（会場校）	鶴見大学図書館事務部長	四方田 均
開会の挨拶	部会長校	駒澤大学図書館長	松村 格
挨拶	会長校	龍谷大学学術情報センター事務部長	寺本 憲夫
挨拶	会場校	鶴見大学 学長	柳澤 慧二
議長選出	司会者（会場校）	鶴見大学図書館事務部長	四方田 均
開会宣言	議長	帝京大学図書館長	飯田 裕康

議長より、部会総会に先立ち、出席校が会則(私立大学図書館協会会則第 24 条)の定足数に達し、部会総会が成立した旨の報告があり、議事進行に入った。

< 部会成立状況 >

加盟校数：243 校(部会成立に必要な校数は 243 校の過半数 = 122 校以上)
出席校：90 校(出席者 143 名)
委任状提出校：147 校
合計：237 校
欠席校：6 校

引き続き、新規加盟申請のあった下記 5 校の紹介がなされ、拍手で了承された。
ただし、東京医療保健大学と獨協医科大学の 2 校については 2006 年 4 月以降の加盟申請のため、本日の 2005 年度会務報告資料には掲載されていない旨の補足説明があった。

なお、加盟申請 5 校については、9 月に関西学院大学で開催される私立大学図書館協会総会にて承認された後、2006 年 4 月 1 日付で正式加盟になる旨の報告があった。

諏訪東京理科大学 (長野県茅野市)
日本赤十字北海道看護大学(北海道北見市)(当日出席)
高崎健康福祉大学 (群馬県高崎市)
東京医療保健大学 (東京都世田谷区)(当日出席)
獨協医科大学 (栃木県下都賀郡壬生町)

議 事

報告事項：

議長より、全ての報告事項を纏めて報告した後、質疑応答に入りたい旨の発言があり、了承された。

1．2005年度東地区部会会務報告及び研究部活動報告

部会長校駒澤大学（東）より、資料（p.3-6）に基づき、2005年度東地区部会会務報告があった。続いて、資料（p.7-15）に基づき、今年度は役員校の任期が2年目になるため、2006年4月21日に開催された「2006年度次期役員校選考委員会」において次期及びその後の役員校等が「次期役員校選考に関する申し合わせ事項」に基づき推薦され、承認を得た旨の報告がなされた。

また、当委員会において「私立大学図書館協会東地区部会役員校選考に関する申し合わせ事項」を現在の協会活動の実情に合わせた形に一部改正された旨の説明があった。

引き続き、研究部担当理事校国土館大学（齊藤）より、資料（p.16-20）に基づき、研究部活動について報告がなされた。

2．2005年度協会関係報告

部会長校駒澤大学（東）より、資料（p.21-34）に基づき、協会会務報告、協会賞審査委員会・研究助成委員会報告、国際図書館協力委員会報告及びホームページ委員会報告がされた。引き続き、資料（p.34-41）に基づき、2005年度協会関連報告として国公立大学図書館協力委員会報告、国立情報学研究所及び日本図書館協会の報告も併せてなされた。

3．2006年度私立大学図書館協会委員会及び協会関連団体等委員

部会長校駒澤大学（東）より、資料（p.42-44）に基づき、2006年度委員会及び協会関連団体等委員について次のように報告がなされた。下線の入っている委員が、新たに今年度から委員となった方々である。研究助成委員会は協会活動活性化の方策として協会賞審査委員会から独立し、新たに委員を選出しての発足となる。任期については残任期間の1年間である。また、日本図書館協会への役員等の派遣については、2006年度第1回常任幹事会で、国公立大学図書館協力委員会において役員等の派遣について検討が行われていた経緯の説明があった。これを受け、私立大学図書館協会の今後の方向について協議した結果、次の方向で委員を派遣することが了承された旨の報告があった。ア）施設会員委員は、国公立大学図書館協力委員会の常任役員校が当たる。イ）部会長校については、国公立大学図書館協力委員会委員長校とする。ウ）施設会員理事については、国公立大学図書館協力委員会の常任役員校

が担う。エ)施設会員評議員については、私立大学図書館協会の役員校で分担する。

以上、報告事項 1 . 2 . 3 . について、拍手で了承された。

協議事項：

議長より、協議事項については 2005 年度決算関係と 2006 年度事業計画及び予算関係とに分けて協議していきたい旨の要請があり、了承された。

1 . 2 0 0 5 年度東地区部会決算報告及び監査結果

部会長校駒澤大学（東）より、資料（p.45）に基づき、2005 年度東地区部会決算報告の説明があり、2006 年 4 月 6 日に監事校の早稲田大学より監査を受け承認されたとの報告がなされた。

2 . 2 0 0 5 年度東地区部会研究部決算報告及び監査結果

研究部担当理事校国土館大学（齊藤）より、資料（p.46）に基づき、2005 年度東地区部会研究部の決算報告の説明があり、2006 年 4 月 6 日に監事校の早稲田大学より監査を受け承認されたとの報告がなされた。

これを受けて、監事校早稲田大学（中元）より、東地区部会決算および東地区部会研究部決算について監査結果の報告がなされた。

以上、協議事項 1 . 2 . について、拍手で承認された。

3 . 2 0 0 6 年度東地区部会事業計画（案）及び予算（案）

部会長校駒澤大学（東）より、資料（p.47-48）に基づき、2006 年度東地区部会事業計画(案) 及び予算(案)について説明があった。

4 . 2 0 0 6 年度東地区部会研究部活動計画（案）及び予算（案）

研究部担当理事校国土館大学（齊藤）より、資料（p.49-50）に基づき、2006 年度東地区部会研究部活動計画(案)及び予算(案)について説明があった。

以上、協議事項 3 . 4 . について、拍手で承認された。

承合事項

提出なし

懇談事項

1. 協会活動活性化策に伴う規程改正等について

部会長校駒澤大学（東）より、資料（p.51-67）に基づき、2006 年度第 1 回常任幹事会において協会活動活性化策に伴う規定改正等について「新旧対照表」が提示された。この改正の目的は、協会活動活性化策の一環として研究助成委員会を協会賞審査委員会から分離して委員も再編成して活動を行うことである旨説明があった。

説明の後、部会長校駒澤大学（東）より、協会活動活性化策に伴う規程改正等についてご意見を伺いたい旨の発言があったが、特に意見は出なかった。

なお、以上に関する意見は部会長校駒澤大学図書館に 7 月 15 日までに頂きたい旨要請があった。

その他

なし

以上、全ての議事が終了し、議長が閉会を宣言した。

以 上